

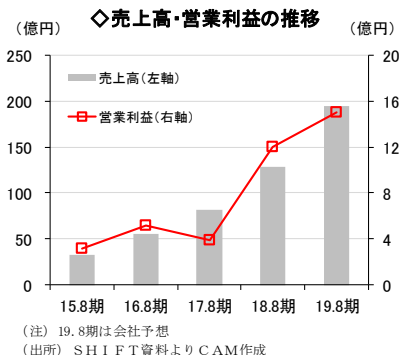
# 企業ニュース SHIFT

(東証マザーズ : 3697) <http://www.shiftinc.jp>

作成者: 村上大志

## ソフトウェアテストのリーディングカンパニー

2005年設立。「すべてのソフトウェアにMade in Japanの品質を」を合言葉として、ソフトウェアテストサービスを中心に事業を展開する。コンサルティングサービスをはじめ、テストエンジニアの適正を評価する検定制度「CAT検定」や、テスト実行の生産性を評価するテスト支援ツール「CAT」などのサービスを提供する。当社推定によるとソフトウェアテストの市場規模5兆円に対し、アウトソーシングは約1%とほとんど進んでいない状況で、当社へのニーズは高い。18.8期セグメント別売上高構成比は、金融、流通、製造、通信、ウェブサービス業などのエンタープライズ市場88%、ゲーム関連のエンターテインメント市場12%。中期業績計画では20.8期の売上高300億円、営業利益30億円を目指している。



## 会社計画の上方修正を発表

19.8期・第2四半期累計(9-2月)の連結業績は売上高が83億円、前年同期比43%増、営業利益が4億8,300万円、同11%減。エンタープライズ市場の売上高は73億6,400万円、同44%増、セグメント利益は18億300万円、同57%増。既存顧客の売上拡大に加え、全業種で新規顧客からの受注が増加した。また、コンサルティング等の高単価案件も増加しセグメント利益率が改善した。エンターテインメント市場の売上高は9億800万円、同32%増、セグメント利益は2億300万円、同10%増。コンシューマーゲーム領域で大手顧客からの大型タイトル受注が業績に貢献した。

19.8期の会社計画は売上高が195億円、前期比52%増、営業利益が15億円、同25%増。2月に公表した今期会社計画から売上高で9億円、営業利益で1億円の上方修正を行った。M&Aによるグループ会社の売上高成長と営業力強化で会社計画達成を目指す。また、グループ間のシナジー強化によるサービスの高付加価値化で、利益率の改善が見込めよう。人材採用も順調で、テレビCMや駅広告など積極的なマーケティング施策が奏功し認知度が向上している。

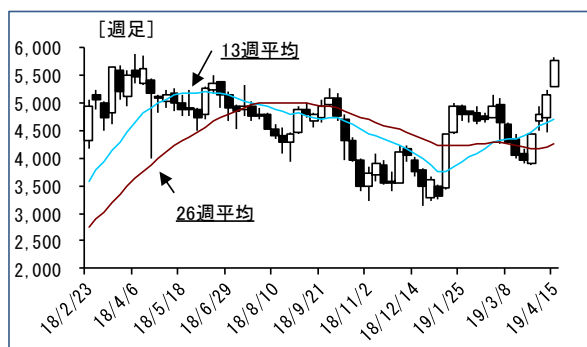
## [株価動向・投資判断]

会社計画の上方修正で株価は上昇しており株式指標面で割安感はないが、当社が手掛けるソフトウェアテストのアウトソーシングは潜在市場が大きく、高成長が続こう。

### <3697 SHIFT 業績: 日本基準>

[今期予想の配当金は発行会社予想]

	売上高	営業利益	経常利益	当期利益	1株利益	1株配当
	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	円	円
17.8	8,174 ( 48)	391 (▲ 24)	440 (▲ 23)	208 (▲ 32)	14.5	0.00
18.8	12,792 ( 56)	1,200 ( 207)	1,238 ( 181)	368 ( 77)	25.5	0.00
19.8 予	19,500 ( 52)	1,500 ( 25)	1,450 ( 17)	900 ( 145)	61.4	0.00



[主要株価指標] (売買単位: 100株)

株価(2019/4/15)	5,750 円
年初来高値(高値日)	5,830 円(19/4/15)
同 安値(安値日)	3,240 円(19/1/4)
予想 P E R (19.8 予)	93.7 倍
1株株主資本(PBR算出用)	186.8 円
P B R	30.77 倍
予想配当利回り	0.00 %
(1株当たり配当金年0.00円)	
R O E (18.8)	17.4 %
発行済み株式数	1,473 万株